

## 令和4年度第2回市民協働によるまちづくり推進協議会内容

日時 令和4年8月25日(木)

19:00~20:30

場所 市役所地下会議室A

委員 8名出席

### ■会議の目的 ・市民協働によるまちづくり計画策定協議

#### 1. 開会

#### 2. 会長挨拶

#### 3. 市民協働によるまちづくり計画策定について

第1回協議会後の変更点などを事務局から説明

説明後、委員質疑

- ・市民自治は以前になかった表現だが  
→第5次総合計画と合わせている
- ・行政のこれまでの取り組みのうち人材育成事業とは何か  
→過去に実施した講座だが、講座名と事業名は異なる
- ・人材育成と仕組みや制度の見直しを進める必要については、協議会答申の地域づくりクリエイターと相まって、これまでの行政と区の関係(依頼と補助金)を見直すものと評価する
- ・補完性の記述は分かりにくいのではないか  
→協働を考える前提となるものであり、説明文とともに記載
- ・協働の評価については、第三者の評価ではなく、生み出された成果などを発信していく必要があるのではないか  
→情報発信の強化とともにコーディネートもしていきたい
- ・話し合いに関しては、地域内で足りていない、行政との関係でも足りていない重要な記述として歓迎する
- ・市民協働推進のための啓発は、区や関係機関でも特長的な取り組みがなされているが、これらを他の団体が知る機会があればよいと思うが  
→団体にとって当たり前の取り組みでも、他から見れば参考となるものがあるので、発信の強化をしたい
- ・コミュニティスクールと思われる記載があるが、地域と学校からの双方向の視点で進めてほしい

- ・地域の自治力を高める支援制度については、地域が自身の活動を見つめ直す、話し合うきっかけとなる制度構築を望む
  - ・地域づくりクリエイターも支援制度に包含すると考えてよいか  
→そのように考えている
  - ・広域的な課題解決の枠組み検討を記載したのは、各主体の関係性が分かりやすくなり評価する
  - ・企業参加の促進を主に担うのは市民活動センターか。以前あった支援主体ではイベントなどで自由に利用できる場が提供されていたが。  
→市民活動センターは貸館機能を持っていない。他の企業や団体につなぐ機能があるので、最初の相談窓口として考えている。
  - ・計画推進に関する全体の評価についてはどうするのか  
→推進体制を担う各主体にヒアリングなどを行い、協議会と情報共有しながら進めていく
  - ・具体的な実施事業が掲載されているが、更新される考えでよいか  
→毎年度、事業の変更があれば、この部分のみ計画変更をしていく  
計画の策定スケジュールを事務局から説明

#### 4. その他

- ・次回協議会について、過去パートナーシップ事業補助金を受けた団体の視察と意見交換を予定
- ・社会福祉協議会作成の東地区無人販売所マップ紹介（柏木委員）

#### 5. 閉会

増田会長から差入れがあった